

# オペラ「アイーダ」あらすじと解説 (期末テスト対策ポイント)

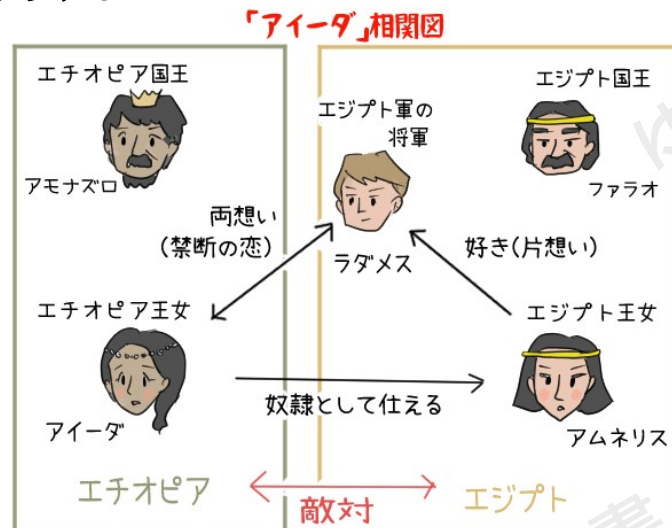
「アイーダ」基本情報をチェックしよう

「アイーダ」基本情報

作曲：G・ヴェルディ  
 演奏形態：オペラ  
 幕の数：全4幕  
 初演された年：1871年  
 舞台となっている国：古代エジプト  
 【物語の内容】悲劇の恋物語

凱進行曲はサッカーの応援歌で有名だね。W杯でよく耳にするよね。  
 これは、中田英寿選手がイタリアではサッカーの応援歌に凱進行曲が使われることを気に入っていて、日本でもロズさんでいたのが広まったと言われているよ。  
 他にも、「テルマエロマエ」という映画でも使われている部分があったり、結構「あ、これ知ってる！」と思う人が多いんじゃないかな。  
 「アイーダ」は、オペラ（歌劇）なので、物語になっているんだ。

「アイーダ」のあらすじ



## 「アイダ」あらすじ

## 【第1幕】

舞台は古代エジプト。

エジプトと敵対しているエチオピアとの戦いが始まろうとしていた。

エジプトの捕虜となった女性アイダは、エジプトの王女アムネリスの奴隷として働いていた。

そしてエジプト軍の将軍であるラダメスは、そんなアイダに惹かれ、2人は愛し合うようになっていた。

しかしアイダは、なんと敵国エチオピアの王女だったのだ。

2人の愛は、絶対秘密にしなければならなかった。

そんな中、いよいよエジプトはエチオピアとの戦いにいくことになり、その指揮官にラダメスが選ばれてしまう。ラダメスへの愛と、祖国への思いとの間に苦しむアイダ。

## 【第2幕】

戦場のラダメスを心配するアイダ。そんなアイダを見て、エジプト王女アムネリスは、アイダがラダメスを愛していることに気がつく。

実は、アムネリスもラダメスを愛していたのだ。

やがて、エジプトはエチオピアに勝ち、ラダメスひきいるエジプト軍は凱旋する。（凱旋行進曲がここで流れるよ）

エジプトの国王は、ラダメスに王女アムネリスと結婚し、王を継ぐように持ちかける。喜ぶアムネリスと対照的に、困惑するラダメスと悲しむアイダ。

## 【第3幕】

戦いに負けたエチオピアの捕虜がエジプトにやってくる。

その中には、身分をかくしたアイダの父、エチオピア国王がいた。

エチオピア国王は、アイダがラダメスと愛し合っていることを利用して、アイダにラダメスからエジプト軍の機密（軍事上の秘密のこと）を聞き出すように命じる。

ラダメスは、アイダとエジプトから逃げ出し、2人一緒に暮せるようにと、エジプト軍が配備されていない「ナパタの谷」について教えてしまう。

この話をかくれて聞いていたエチオピア国王は正体を明かして、その「ナパタの谷」からエジプトへ攻め込もうと言い出す。焦るラダメス。そこへアムネリスがやってくると、ラダメスはアイダとエチオピア国王を逃してしまう。

## 【第4幕】

敵国にエジプト軍の機密をバラしたという罪で、ラダメスは死刑をいわたされる。

ラダメスを愛するアムネリスは、アイダへの想いを捨てれば、命を助けると言うが、ラダメスはこれを断り、地下牢へと閉じ込められ、死を待つことになる。しかしそこにはアイダが待っていた。ラダメスとアイダは、永遠の愛を誓って息絶えた。



永遠の愛を誓ったものの、アイダとラダメスを待っていたのは死だったんだね。  
だから「悲劇の恋物語」なんだね。

## 「アイダ」テスト対策ポイント① 作曲家ヴェルディについて覚えよう

オペラ「アイダ」を作曲したのは、G・ヴェルディ。



正式な名前は、ジュゼッペ・ヴェルディというよ。

ヴェルディは、1813年にイタリアで生まれたよ。

ベートヴェンやモーツァルトなど、他の音楽家はお父さんが音楽家だったりするけど、  
ヴェルディのお父さんとお母さんは、音楽には関係のない生活をしていたんだ。

でもヴェルディは教会のパイプオルガンが大好きで、通い続けたんだって。そんなヴェルディが8歳のときに、お父さんとお母さんが中古のスピネット（小さいチェンバロのこと）を買ってあげると、ヴェルディは夢中になったよ。

それからパイプオルガン演奏者に音楽を教えてもらい、才能を見出されて評判になったんだ。

10歳で音楽学校へ行くようになって、それからどんどんと才能を伸ばしていったよ。



## ヴェルディの代表作は？

ヴェルディは、28作ものオペラを作曲したよ。  
そのため、「オペラ王」という異名を持っているんだ。

ヴェルディは、イタリアのお札の肖像画にもなっていたことがあるよ。

ヴェルディの代表的なオペラ

### 【ナブッコ】

古代バビロニアとエルサレムを舞台にした壮大なドラマ。

1842年に初演された、ヴェルディにとっての3作目のオペラ。

このとき、ヴェルディは最愛の奥さんと子供を続けて亡くしてしまっていて、もう音楽をやめようと思えていたんだ。

でも、この「ナブッコ」の台本の「行け、我が思いよ、黄金の翼に乗って」という言葉に惹かれて、作曲を決意したよ。

このオペラで初めての大成をおさめて、ヴェルディは出世したよ。

### 【リゴレット】

道化師のリゴレットが娘であるジルダを大切に思うあまり起こす行動が悲劇を招く物語。

レ・ミゼラブルで有名なヴィクトル・ユゴーの小説が原作。

1851年初演。

### 【椿姫】

パリの社交界を舞台にした、高級娼婦ヴィオレッタの愛と哀しい運命を描いた物語。

1853年初演。

もともとのタイトルは、「墮落した女」という意味の言葉。

## 音楽的時代では？

ヴェルディが活躍したのは、音楽的時代という「ロマン派時代」だよ。

同じころ活躍した作曲家に、ドイツでオペラ作品をたくさん残したワーグナーがいるよ。



## 「アイダ」テスト対策ポイント② オペラについて覚えよう

### オペラの基本情報

「オペラ」は、16世紀末にイタリアのフィレンツェで誕生したんだ。

日本語では「歌劇（かげき）」というよ。

「歌劇」というだけあって、歌（声楽）を中心に、基本的にはオーケストラの伴奏が付くんだ。

オペラは、「物語」をもとに、素晴らしい舞台セットの中で、歌と劇とダンスが行われるよね。

物語・・・文学

舞台セット・・・美術

歌・・・音楽

劇・・・演劇

ダンス・・・舞踊（ぶよう）

このように、オペラは「文学・美術・音楽・演劇・舞踊」などのさまざまな分野の要素が組み合わされた、総合芸術といわれるんだ。

### 有名なオペラ作品

イタリアで誕生したオペラは、その後ヨーロッパ各地に広がって行って、今でも各国でたくさんの作品が上演されているんだ。

オペラの有名な作品例

- ・ワーグナーの作品「タンホイザー」
- ・ビゼーの作品「カルメン」
- ・モーツァルトの作品「フィガロの結婚」
- ・プッチーニの作品「蝶々夫人」



## 「アイーダ」テスト対策ポイント③ 曲の内容について覚えよう

### 「アイーダ」の登場人物について

それぞれの人物の名前と、立場、お互いの関係については必ず覚えよう！  
赤字は絶対覚えよう！

#### 【エジプト側】

**アムネリス**・・・エジプト国王の娘。王女。ラダメスを愛している。

**ラダメス**・・・エジプト軍の将軍。捕虜のアイーダを愛している。

**ファラオ**・・・エジプト国王。アムネリスの父。

#### 【エチオピア側】

**アイーダ**・・・エチオピア国王の娘。王女。ラダメスを愛している。エジプトの捕虜になっている。

**アモナズロ**・・・エチオピア国王。アイーダの父。戦いの後、捕虜となる。

### 人物ごとの声種について

「アイーダ」では、登場人物ごとに声種が違うんだ。

#### 声種（こえしゅ）とは？

オペラは物語だから、人物にはそれぞれ「役柄」があるよね。

それぞれの役柄ごとに声の高さを変えることで、その役柄のイメージに合うようにするんだ。

高い声の方が「若い」イメージになるし、「女性らしさ」が出るよね。

男の人も、声が低ければ低いほど、「強い」とか「恐ろしい」イメージとか出しやすくなるよね。



## 声種の高さの順番

声種の高さの順番

【高い】  
ソプラノ  
↑  
メッツォソプラノ (メゾソプラノ)  
↑  
アルト  
↑  
テノール  
↑  
バリトン  
↑  
バス  
【低い】  
※赤字は女声、青字は男声

## 「アイーダ」の主な人物と声種

アムネリス・・・メッツォソプラノ  
ラダメス・・・テノール  
アイーダ・・・ソプラノ  
ファラオ・・・バス  
アモナズロ・・・バリトン

ラダメスは若い男性だから、男声の中でも高い方の「テノール」が使われているのかな。アムネリスとアイーダも、アイーダの方が高い「ソプラノ」が使われることで、2人のイメージに違いが生まれるよね。

エジプト国王のファラオに「バス」が使われているので、国王の恐ろしさや威厳が感じられるようになるね。



## 凱進行曲とは？

「アイダ」の第2幕では、エチオピアとの戦いに勝ったエジプト軍が凱旋する場面が登場するよね。

この時の音楽を凱進行曲というよ。

「アイダ」の中でも有名な主題（音楽のテーマ）の一つなんだ。



サッカーの応援歌で使われるテーマだね。

### アイダトランペットについて

この凱進行曲では、テストで絶対出ると言ってもいいくらいの楽器が登場するよ。

それが、「アイダトランペット」。

普通のトランペットが使いやすいように管が曲げられているのに比べて、アイダトランペットは主管がまっすぐなんだ。

なぜそうなっているかというと、イベントなどのファンファーレとして使われるので、デザインが重視されているからなんだ。

よく、トランペットに垂れ幕などがつけられていることもあるよね。

アイダトランペットは、普通のトランペットと同じ金管楽器だよ。



## 「アイーダ」 テスト対策ポイントまとめ

### 「アイーダ」まとめ

- 作曲者はイタリア生まれのG・ヴェルディ
- 演奏形態は「オペラ（歌劇）」
- 全4幕で構成されている。
- 初演されたのは1871年。
- 舞台は古代エジプト
- 内容は「悲劇の恋物語」
- ヴェルディが初めてオペラを作曲したのは25歳
- 他の代表作は「ナブッコ」「リゴレット」「椿姫」
- 「オペラ王」の異名をもつ
- 活躍した時代は「ロマン派」
- オペラは、音楽・文学・演劇・美術・舞踊を要素にもつ総合芸術
- 歌（声楽）を中心にオーケストラ伴奏が一般的。
- オペラは16世紀末にイタリアのフィレンツェで生まれた。
- 登場人物を覚えよう
- 人物ごとの声種を覚えよう
- 声種は、高い順にソプラノ・メッツォソプラノ・アルト・テノール・バリトン・バス
- 第2幕の主題に、凱進行曲が使われている。
- 凱進行曲では、アイーダトランペットが使われている。

